

令和元年度

幼保小連携ブロック活動 報告

令和2年4月

足立区教育委員会

就学前教育推進課

目 次

はじめに	1
I 担当校・担当園および担当者会議	2
1 担当者会議開催日	
2 担当校・担当園	
II 幼保小交流活動状況	3
1 交流活動の取り組み	
2 小学校第1学年に関するアンケートの結果を踏まえた取り組みに関する主な成果	
3 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に関する主な成果	
4 令和2年度に向けた主な課題	
各ブロック幼保小連携活動報告	
① 第1ブロック	6
② 第2ブロック	9
③ 第3ブロック	12
④ 第4ブロック	14
⑤ 第5ブロック	17
⑥ 第6ブロック	19
⑦ 第7ブロック	23
⑧ 第8ブロック	26
⑨ 第9ブロック	28
⑩ 第10ブロック	31
⑪ 第11ブロック	35
⑫ 第12ブロック	37
⑬ 第13ブロック	41

《 参考資料 》

- 令和元年度 幼保小連携ブロック別一覧（小学校、幼稚園、保育園等）

はじめに

足立区では、子どもたちの発達と学びを幼児教育から小学校教育へつなげていくため、平成18年度に幼保小連携活動に取り組み始めて以来、昨年度末で14年が経過しました。区内を13の地域に分け、地域ごとに就学前施設（私立幼稚園、認定こども園、公私立保育所、5歳児が在籍する認証保育所）と小学校の関係者が集い、創意工夫を重ねながら交流活動が続いています。活動は年を追うごとに深化し、子どもの交流と共に職員の交流も充実してきました。

令和元年度は、平成30年12月に策定された「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用を促進する1年となりました。

各小学校と就学前施設が、同じ観点で5歳児の移行期と小学校入学後の児童の発達と学びを理解し合い、双方の指導に活かす取り組みが始まり、公開授業・公開保育等の実施時の見取りや、校内・園内研修などにも積極的に活用していただいたことに感謝いたします。

令和2年度も、就学前施設が23施設開園される中、新規施設の幼保小連携活動への参加を促すとともに、幼保・保保の連携活動にも力を入れてまいります。

各ブロックからの活動報告を基に、令和元年度における具体的な取り組みの成果と令和2年度に向けた課題を「Ⅱ 幼保小交流活動状況」にまとめました。各ブロックにおける今後の議論や交流活動に是非ご活用ください。

令和2年4月

足立区教育委員会

教育指導部就学前教育推進課

I 担当校・担当園および担当者会議

I 担当校・担当園および担当者会議

1 担当者会議開催日

	1 回目	2 回目
日時	平成31年4月26日(金)	令和2年1月24日(金)
	10:00~12:00	10:00~12:00
会場	げんき 研修室3	げんき 研修室3

2 担当校・担当園

ブロック	学校名	校長名	園 名	園長名
1	千寿小学校	吉川 正	元宿こども園 第一園舎	鈴木 君栄
2	宮城小学校	藤井 基人	宮城保育園	小俣 春美
3	西新井小学校	柴 良之	本木保育園	後藤 登美子
4	関原小学校	世取山 哲哉	梅田保育園	中山 清子
5	足立小学校	角田 成隆	中央本町保育園	沢井 範子
6	東綾瀬小学校	各務 友二	東綾瀬保育園	増田 久美
7	辰沼小学校	瀬谷 智代	辰沼保育園	蓮井 宣子
8	青井小学校	齋藤 智子	平野保育園	小林 由美
9	花保小学校	半田 英雄	南保木間保育園	國上 悦子
10	渕江第一小学校	大森 千里	北保木間保育園	中村 由美
11	伊興小学校	井上 龍夫	伊興保育園	久保井 佐智恵
12	新田小学校	土肥 和久	加賀保育園	福島 律子
13	舎人第一小学校	相原 和子	いりや第一保育園	浅葉 美佐子

私立幼稚園代表	ふちえ幼稚園	古庄 宏吉
私立保育園代表	やよい保育園	川下 勝利

(敬称略)

Ⅱ 幼保小交流活動状況

1 交流活動の取り組み

(1) 実施校・園数（教員・保育者の交流研修、園児と児童の交流）

ア 交流活動は年々深まり、交流参加率も増加している。5歳児が在籍している保育園については、ほとんどの園で交流活動を実施している。

イ 令和元年度に5歳児が在籍していない新規開設園については、令和2年度の各園の状況を踏まえながら、ブロック会議や交流活動の参加を促していく。

	全校・園数	交流活動実施校・園数	参加率
私立幼稚園・認定こども園	51	43	84%
私立保育園	85	83	98%
公設民営保育園	16	16	100%
区立保育園・区立認定こども園	30	30	100%
認証保育所	10	8	80%
小学校	69	69	100%

※ 令和元年度現在、5歳児が在籍していない園は上記の表に含めていない。

(2) 主な活動内容

ア 子どもの交流（園から学校へ）

(ア) 就学前施設数の増加に伴い、小学校の負担も年々増す状況にはあるが、区は体験給食を、5歳児が学校生活を体験し、期待を高める良い機会と位置付けているため、今後も支援していく。今年度、実施園数が昨年度に比べて7園増えたのは、体験給食を複数回実施する、複数の小規模園が合同で実施するなどの工夫を行った小学校があったためと考える。

(イ) 体験給食は62校が実施した。年度当初に実施を予定していたが、インフルエンザの流行の影響などにより中止となった学校もあった。一方で、(3)アのような改善を行い、対応していた学校もあった。体験給食の実施が難しい場合でも、体験授業や学校行事への参加による交流活動を行うなど工夫した園も見られた。

学校体験	園数	体験給食実施園	実施園数
体験給食	146	私立幼稚園・認定こども園	27
体験授業	104	私立保育園	72
読書体験	34	公設民営保育園	15
学校行事への参加	園数	区立保育園・区立認定こども園	26
運動会	30	認証保育所	6
音楽会	39		
学芸会	31		
展覧会	20		
学校探検	39		
その他	69		

【「その他」の主な取り組み】

- ・昔遊び（3園）
- ・水害・避難訓練（6園）
- ・学校まつり（13園）
- ・校庭・体育館利用（8園）

II 幼保小交流活動状況

イ 職員交流

- (ア) 各園長に集まってもらい、小学校長が講話をするなどの工夫を行ったブロックも見られた。
- (イ) 公開保育は、実施する時期や園（59園実施）が限られるため、小学校から参加しにくい状況も見られる。

園から学校への交流	園数	延べ回数
交流研修 ※1	97	111
学校公開 ※1	88	184
その他	28	42
学校から園への交流	校数	延べ回数
交流研修 ※2 ※3	65	124
公開保育 ※2	56	91
その他	37	54

【「その他」の主な取り組み】

- ・研究授業や公開講座に参加（8園）
- ・座談会（10園）

【「その他」の主な取り組み】

- ・保護者会での講話（22校）
- ・絵本の読み聞かせ（1校）
- ・初任者研修・中堅教諭研修とあわせて実施（6校）

- ※1 交流研修を2回以上実施している園は26園、学校公開に2回以上参加している園は56園。
- ※2 交流研修を2回以上実施している校は37校、公開保育に2回以上参加している校は24校。
- ※3 交流研修が65校なのは、初任者研修・中堅教諭研修を交流研修と兼ねて実施している小学校があるためと考えられる。

(3) 今年度の交流活動に関する主な成果（各ブロックの報告書より）

- ア 体験給食について、インフルエンザの流行や欠食日との関係で日程調整が難しかったが、予備日を設けたり、実施時期を2月ではなく11月に設定したりすることで、予定通り実施することができた。
- イ 複数の園と学校が連携しているグループでは、園児と児童との人数差の調整や交流活動日の設定などで難しさがある。学校と園が年度当初に連絡を取り合い、早めの調整を重ねたことで連携活動を実施することができた。
- ウ 個別対応や配慮を要する園児や児童の情報について、園・校間で事前に可能な範囲で共有することにより、職員を適正に配置したグループ編成ができた。

2 小学校第1学年に関するアンケートの結果を踏まえた取り組みに関する主な成果（各ブロックの報告書より）

- (1) 子どもが集中して取り組む環境づくりに向けて、教室の掲示物を整理し、特に黒板周りの掲示物を減らした。また、机上に置く物を確認した結果、集中力が高まった。
- (2) 鉛筆の持ち方などを正しく行えるように、書く活動の場面を中心に、絵図で示したり、ポスターを掲示したり、個別に指導を行うことで、鉛筆を正しく持てるようになった。
- (3) 授業中に姿勢よく座ることができるよう、体幹を鍛える運動（手押し車、雑巾がけ、

リトミックなど)を活動の中に意図的に組み込むことで、自分の体をしっかり支えることができるようになり、姿勢よく座れるようになった。また、保育園や幼稚園で楽しみながら運動遊びを経験したことが小学校での体育の授業の運動につながっていくこともわかった。

- (4) 給食の喫食時間や偏食に対する指導については、喫食時間に関して具体的な目標時間を設定し、段階を踏んで指導してきた。食べきれぬ量を盛り付けることで、達成感につながった。保護者会などで児童の給食の様子を伝え、家庭でも食事の時間や偏食について意識をしてもらった。

3 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に関する主な成果（各ブロックの報告書より）

- (1) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」について、全てのブロックから「活用した」との回答があった。
- (2) 他区からの異動者や新規採用者への意識付けが難しいが、接続期カリキュラムを理解している教員を1名は1年の担任に配置したため、初めてカリキュラムに取り組む教員も接続期の指導を充実させることができた。
- (3) 学校・園と家庭との連携をさらに強化して子どもを育むために、園の保護者会で接続期カリキュラムの14項目について説明し、就学に向けて家庭で何をすべきか方向性を示せた。
- (4) 基本的な生活習慣（学びに向かう姿勢）を身に付けるために、1年担任と5歳児担任が基本的な生活習慣の観点を意識したことで、今年度の1年生は4月に入学した際にスムーズに学校生活に慣れることができた。
- (5) 接続期カリキュラムの項目を絞って活用することで、子どもを見取る観点が絞れ、交流研修・学校公開・保育参観や各行事などの場で、子どもを見るポイントが明確になり、その後の意見交換などでもブレの少ない話し合いができた。

4 令和2年度に向けた主な課題（ブロックの報告書より）

令和2年度に向けた主な課題は以下の通り。また、就学前教育推進課においても、「⇒」に記載の通り各ブロックにおける検討・取り組みを支援していく予定。

- (1) 保護者への啓発にも力を入れる必要がある。
- ⇒ 『「あだち幼保小接続期カリキュラム」家庭版』（日本語版・外国語版）について、各就学前施設などに配布し保護者会での活用を促す。
- (2) 接続期カリキュラムのさらなる周知と、小学校におけるモデル週案簿の活用を促進する必要がある。
- ⇒ 接続期カリキュラムやモデル週案簿に関する効果的な活用方法を収集・紹介し、広めていく。
- (3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の効果的な活用方法を探り、連携活動に活かす必要がある。
- ⇒ 5歳児担任から新5歳児担任へ、1年生担任から新1年生担任へ接続期カリキュラムやモデル週案簿の引継ぎを促す。このため、就学前教育推進課から接続期カリキュラムを新1年生担任に向けて2月末から3月上旬に配布する。



各ブロック
幼保小連携活動報告

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第1ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【千寿小学校】
担当園【元宿こども園】

小学校名		千寿小学校	千寿本町小学校	千寿双葉小学校	
連携園		①あい保育園千住大橋 ②足立幼稚園 ③ういず千住大橋駅前 保育園 ④クリアナーサリー 千住大橋 ⑤ステラ千住保育園 ⑥中条幼稚園 ⑦まなびの森保育園 千住大橋 ⑧緑町保育園 ⑨その他	①Jキッズルミネ北千住 保育園 ②その他	①北千住もみじの森保育園 ②千住保育園 ③千住寿幼稚園 ④その他	
会議	第1回ブロック会議	② ③ ④ ⑥ ⑦ ⑧	①	① ② ③	
	第2回ブロック会議	新型コロナウイルスの感染拡大防止のために第2回ブロック会議中止。各園・各校からの文書にて成果・課題をまとめ報告書に記載した。			
職員交流	学校から園へ	交流研修	6月⑧	1月②	1月②
	園から学校へ	公開保育	7月⑧	7月② 8月① ②	7月④ 8月④
	園から学校へ	交流研修	7月⑧	6月① ②	6月② ④
	学校公開	前期	① ④ ⑦ ⑧ ⑨	②	④
		後期	① ⑧	②	④
		その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など		・保護者会講話②	
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	12月①(1年生)③(1,2年生) ④(1年生)⑤(1年生) ⑦(1,2年生) ⑧(1,2年生) 1月②(5年生)		2月②(1年生)
		体験授業	1月①	2月②	2月① ②
		読書活動			
		その他の活動	・学校探検① ・展覧会⑧ ・昔遊び② ⑧	・学校探検② ・昔遊び②	

令和元年度 幼保小連携活動内容

第1ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【千寿小学校】
担当園【元宿こども園】

小学校名		千寿常東小学校	千寿桜小学校	千寿第八小学校	
連携園		①ういず千住曙町保育園 ②北千住太陽保育園 ③北千住どろんこ保育園 ④キッズガーデン 足立柳原 ⑤日ノ出町保育園 ⑥その他	①北千住こども園 ②たんぽぽ保育所北千住園 ③元宿こども園 ④その他	①せきや保育園 ②千住あずま保育園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③	① ②	
	第2回ブロック会議	新型コロナウイルスの感染拡大防止のために第2回ブロック会議中止。各園・各校からの文書にて成果・課題をまとめ報告書に記載した。			
職員交流	学校から園へ	交流研修	7月⑤ 1月②	1月③	8月②
		公開保育	8月② ③ ⑤	7月③ ④ 8月④	8月① ②
	園から学校へ	交流研修	5月③ 6月② ⑤		6月② ③
		学校公開	前期	③ ⑤	④
	後期		② ⑤	③ ④	① ③
	その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など		・ 職場インタビュー② ・ 保護者会講話⑤		
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	1月②(1,5年生) ③(1,5年生) ⑤(5年生)	12月①(1年生) ②(1年生) ③(1年生)	
		体験授業	2月① ② ⑤ ⑥	12月③ 1月①	10月① ② 11月③
	読書活動				
	その他の活動	・ 学芸会② ③ ・ 交流会③ ・ 学校探検⑤	・ 音楽会③	・ 展覧会① ・ 避難訓練① ・ 学校探検② ③	

幼保小連携活動報告 第1ブロック

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
・体力向上について年間を通して取り組む継続性と園・校外の生活との連続性に課題があった。今年度は、体力面よりは人間関係力に課題を感じる園・校が多かった。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
・保育者や教師が園児・児童の活動を共通の視座で見取るためにテーマを決める必要がある。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
・「あだち幼保小接続期カリキュラム」を活用し、保育者・教師が園児・児童の姿と重ね合わせて考え、共有していくことが課題である。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
・「協同性」「道徳性・規範意識」「他者との関わり」「自立心」の分科会に分かれ、園児・児童の実態をもとに取り組みの重点を決めた。 (具体的な取り組み内容) ・一例として、園ではグループ活動を行わせ、当番活動や問題解決を各グループで行うなど、テーマに沿った活動を取り入れた。また、テーマに焦点をあて、日々の生活や遊びの中で一人一人の子どもの姿を捉え見取り、どのような関わりや援助が必要なのかを踏まえて、取り組んできた。 ・一例として、学校ではペア・トリオ・グループで意見を交換し合ったり、活動したりする内容を多く設定した。友達同士でトラブルが起きたときなどには、自分の気持ちを伝えるように声掛けをするとともに、相手の気持ちも大切にすることを繰り返し指導した。 (成果) ・グループ活動を通して、自分の意見を言う・相手の意見を聞く・我慢する・譲り合うということをや日々積み重ねることができた。それは、1対1の関係においても生かされ、自分たちで話し合って解決ができるようになった。 ・一人一人の「やってみよう」を大切にすることで、興味をもったことに何度も挑戦しできるまであきらめない姿が日々の遊びや学習の中で見られるようになり、園児・児童がやり遂げた達成感を味わい自信をもつことにつながることができた。 ・個が育ち、グループが育つことで、クラス全体としての力が成長した。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
・「あだち幼保小接続期カリキュラム」を意識的に活用するために、園・校では、年間保育目標・年間指導計画などを立案する際だけでなく、月案や週案作成時に振り返り、活用するようにした結果、保育者・教師が「10の姿」と目の前の園児・児童の姿を重ね合わせて考え、共有化することができた。 ・保護者会などで家庭への発信に活用し、園・校、家庭との連携が充実した。課題としては「10の姿」が実は単体ではなく他の様相と複雑に絡み合っているため、「あだち幼保小接続期カリキュラム」を活用して、園児・児童が育つ場面を家庭に発信する難しさはある。
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
・成果の見取りについての難しさはあるが、テーマを意識しながら保育・教育活動を展開することで、園児・児童の伸ばしたい点をさらに伸ばしていったのはよかった。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
・公開保育や学校公開などで見取る園児・児童の姿をより明確にする。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第2ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【宮城小学校】
担当園【宮城保育園】

小学校名		江北小学校	高野小学校	扇小学校	宮城小学校	
連携園		①足立サレジオ幼稚園 ②江北保育園 ③江北さくら幼稚園 ④その他	①上沼田保育園 ②その他	①あい・あい保育園 高野園 ②さつき保育園 ③その他	①東京白百合幼稚園 ②三星保育園 ③宮城保育園	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③	①	① ②	① ② ③	
	第2回ブロック会議	① ②	①	① ②	① ② ③	
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月②	12月①	12月②	1月① ② ③
		公開保育	7月④	7月①		8月③
	園から学校へ	交流研修	5月② 6月④	5月①	6月② 7月①	6月③
		学校公開	前期	② ④	① ②	① ③
	後期					③
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>			・保護者会講話①		・保護者会講話 ① ② ③
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	11月②(1,5年生) 1月③(6年生)	1月①(1年生)	11月①(1年生) ②(1年生)	11月①(6年生) ②(6年生) ③(6年生)
		体験授業			10月① ②	1月① ② ③
	読書活動					
	その他の活動	・触れ合い遊び① ・展覧会② ・学芸会② ④ ・運動会②	・学校見学②	・運動会②	・学芸会① ③ ・触れ合い遊び ① ② ③ ・学校探検③	

幼保小連携活動報告 第2ブロック

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの交流を通して、特に給食体験の日程調整が、インフルエンザの流行や欠食日との関係で難しかった。 ・職員の交流で、冬休み期間の日程が、閉庁日や学校行事などの関係で確保しにくかった。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <p>③静かに話を聞く。④授業中立ち歩かない。⑤給食を時間内に食べる。⑧自分の名前が書ける。が区の平均以下であった。このことから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいを明確に子どもにもたせる。 ・一つ一つの学習の区切りをしっかりと付けさせ、次の動きにつなげる。 ・子どもが集中して取り組む環境作り。などが課題である。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本冊子配布が新年度なので、春季休業中の活用が難しい。特に、他区からの異動者や新採への意識付けが難しい。 ・週案簿の活用は大変有効であった。冊子や週案など、接続期への間口は広がっているが、まだ低学年担当が活用するレベルなので、全教員により広めたい。 ・就学前施設では、年長クラスが立案時に活用していたが、施設として全クラスの職員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をどう育てていくかを考えて立案していく必要がある。また、就学前施設間の連携や交流も必要である。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <p>(1) に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度始めにしっかりと打ち合わせを行い、予備日を設定できたので、予定通り体験活動や職員交流が行えた。 <p>(2) に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足立スタンダードを活用し、ねらいを明確にする授業を展開する。さらに、授業の終わりに振り返る時間を確保して、その時間で学んだことを確認し、学習の区切りを付けさせる。 ・教室環境で、掲示物を整理し、特に黒板周りの掲示物を減らす。また、机の上に置く物を確認して、子どもの学習への集中力を維持させる。その結果、集中力が高まった。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案簿の活用で、実施段階や実施時期が明確になり、指導に大変役立った。 ・「接続期カリキュラム」を理解している教員を、1名は1年の担任に配置したので、初めてカリキュラムに取り組む教員も接続期の指導を充実させることができた。 ・公開保育において、3歳クラス～年長クラスを縦割りにし、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識して計画した活動の実践を観察した後、ブロック全体で協議会を実施し、教員と保育者が子どもの姿から様々な学びを共有できた。 <p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2(1)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・接続期カリキュラムの活用で、児童・園児に対する手立てが明確になってきており、園・学校で共通意識をもった指導に役立っている。保護者に対する手立てを明確にすることが今後の課題であり、来年度の連携活動の中で明確にしていきたい。

(2) 2(2)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・例年、子どもの就学に対する意識が高まる就学時健診実施時期に、年長児の保護者を小学校に集めて保護者会を開催していたが、対象の見直しが必要である。開催時期を年度末とし、4月から年長児になる4歳児の保護者を集めて、就学前に身に付けておいてほしいことを伝える。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第3ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【西新井小学校】
担当園【本木保育園】

小学校名		西新井小学校	西新井第一小学校	興本小学校	本木小学校	寺地小学校	
連携園		①興野保育園 ②西新井幼稚園 ③西新井教会 保育園 ④その他	①愛恵保育園 にしあらい ②黒田幼稚園 ③チェリッシュ 西新井 ④西新井聖華 保育園	①興本保育園 ②その他	①足立愛育 幼稚園 ②いづみ保育園 ③本木保育園 ④本木東保育園	①アスク扇 保育園 ②足立双葉 幼稚園 ③キッズ ガーデン 足立扇	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③	① ③		① ② ③ ④	① ②	
	第2回ブロック会議	②	① ③		③ ④	① ②	
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月④ 12月③	8月④	7月① 8月① 12月①	8月③ 12月③ 1月④	1月②
		公開保育	7月④			7月③ 8月④	
	園から学校へ	交流研修	5月③ 6月①	5月④	6月①	6月③ ④	6月①
		学校公開	前期	③		②	③ ④
	後期					④	
その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>			・児童について 引き継ぎ②	・学校だよりの 送付②	・学校だよりの 送付① ・講演会④ ・研究発表 ③ ④		
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	9月②(1年生) 12月①(1年生) ③(1年生)	12月①(1年生) ③(1年生) ④(1年生)	11月①(1年生) ②(4年生)	1月③(1年生) ④(1年生)	11月②(1年生)
		体験授業	9月① ② ③	12月④	11月①	12月③ 1月④	11月②
	読書活動		8月④				
	その他の活動	・ 展覧会① ③ ・ 運動会① ③ ・ タブレット 交流① ②	・ 学芸会 ① ③ ④ ・ 運動会①	・ 学園祭①	・ まちたんけん ① ③ ・ 音楽会③ ・ 学校探検④	・ 音楽会① ③	

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
・日程調整は難しいので、子ども同士の交流の場を広げにくい。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
・連携のおかげで、正しく、鉛筆を持てる子が年度初めから多く見られた。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
・学年で確認する時間が設けられたが、ブロックであまり活用する場が設けられなかった。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・体験給食 ・学校体験 (国語・生活・音楽) ・授業参観 ・タブレット交流 ・展覧会交流 ・運動会の練習見学 ・西小フェスティバル見学 ・学芸会鑑賞会 ・1年生との交流 ・2年生との町探検 ・図書室体験 ・音楽会リハーサル見学 ・このような様々な交流ができたが、日程調整が難しい中で、子ども同士の交流の場を広げられた。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・授業と体験を行う学校が多く、実際にランドセルを背負ったり、音読を席に座って体験をしたりすることで就学へ期待とイメージを膨らませることができた園児が多かった。
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせができず、小学校任せになってしまったので、事前打ち合わせの時間を設けていく。 ・足立区の幼保小連携の手順、ルールを知る。他所に話合いが不足していたので、充実させる。交流についての打ち合わせをより丁寧に行う。 ・園児が楽しめる活動内容を幼稚園・保育園の先生方と話合い、取り組み方を決めていく。 ・入学時に学習する内容を伝えることで、小学校生活へスムーズに入れるようにしていく。 ・園児の様子を知ること、入学時、個々の児童への支援を充実させる。 ・交流をした際に、教員同士での振り返りの時間を設ける。 ・来年度は校庭利用なども行っていく。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園側からのアプローチを丁寧に行いたい。 ・積極的に交流を図る。 ・1年生が小学校の学校生活を送る中で、さらに規律正しく行動していくことで、園児に見本が見せられると思われるので、年度初めから、計画的に1年生の指導をしていくことが大切と思われる。 ・1年生が園児たちともっと関わるができる遊びの内容を考えていくことが必要である。 ・1年担任が園での研修をする際に、小学生での学習や取り組みについて共有できるようにする。 ・職員同士の交流の場をつくりアイデアを出し合えたら、地域交流も含めて幼保小連携に繋がると思うので来年度実施していく。 ・小学校側に企画していただき、先生同士もせっかく会えるので、1人でもよいのでその日の振り返り、次の企画の要望などが出し合えるとよかったので、来年度は実施できるようにしていく。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第4ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【関原小学校】

担当園【梅田保育園】

小学校名		関原小学校	梅島小学校	梅島第一小学校	
連携園		①足立ひまわり保育園 ②橘幼稚園 ③その他	①梅島幼稚園 ②うめだ「子供の家」 ③エーワン梅島保育園 ④にじいろ保育園梅島ひびき ⑤日生梅島第二保育園 ⑥日生梅島保育園ひびき ⑦バンビ保育園梅島園 ⑧その他	①こだま幼稚園 ②島根保育園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ②	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ②	
	第2回ブロック会議		③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ②	
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月③	8月⑧ 12月⑤ ⑥	8月② 12月②
		公開保育	2月③	2月⑧	2月③
	園から学校へ	交流研修	6月① 7月③	6月⑤ ⑥ ⑧ 12月⑧	6月① ② ③
		学校公開	前期 ② 後期	①	①
	その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など				
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	11月①(3年生) ②(5年生) ③(3年生)	10月⑤(1年生) 2月③(1年生) ⑥(1年生) ⑦(1年生)	12月②(4年生)
		体験授業	11月①	10月⑤ 11月② 2月③ ⑥ ⑦	2月① ②
		読書活動	11月①		
		その他の活動	・音楽会① ・読み聞かせ② ③ ・一年生になって出来たこと発表② ・展覧会③ ・ミニ運動会③		・学芸会① ② ・交流遊び② ・サマーフェスティバル②

令和元年度 幼保小連携活動内容

第4ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【関原小学校】

担当園【梅田保育園】

小学校名		梅島第二小学校	島根小学校	亀田小学校	栗原小学校	
連携園		①梅田保育園 ②親隣館保育園 ③八千代幼稚園	①栗原つくし保育園 ②島根いちい保育園 ③その他	①中部ひまわり保育園 ②その他	①西新井きらきら保育園 ②満願寺幼稚園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③	① ②	①	①	
	第2回ブロック会議	① ② ③	① ②	①		
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月①	8月① ②	1月①	
		公開保育	2月①	2月③	2月②	2月③
	園から学校へ	交流研修	6月① ③ 12月①	5月② 6月①	6月① ②	6月①
		学校公開	前期	① ③		②
	後期		①			
その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>		・保護者会講話① ・体験入学参観①	・新任研修①			
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	1月①(1年生) ②(1年生)	11月①(5年生) ②(5年生)	10月①(1年生)	
		体験授業	12月③	11月① ② 1月① ②	10月① 2月②	
		読書活動				
		その他の活動	・学芸会① ・学校探検① ③ ・運動会③ ・校庭を借用③	・学芸会① ② ・しまねっこまつり ① ②	・音楽会①	・学芸会①

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は他学年の社会科見学に合わせて11月に給食交流を行った。次年度以降も11月に行え、インフルエンザやノロウイルスの心配をしなくてよい（前年度までは1月・2月の設定としてきた経緯があり、配慮が必要な状況の中で、延期や中止などの対応が発生した）。 ・交流直後に話し合いをすることは難しかったため、別途機会を設定した。 ・ブロック会議では、話の聞き方について、保育園・1年生ともに課題があることが分かった。挨拶・返事と同じように話の聞き方についても連携していけると良い。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目も概ね達成できている。 ・項目⑤給食については、給食体験を実施することにより、小学校のルールや状況がよくわかって良かった。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「接続期カリキュラム」は小学校においてあまり活用されていない現状である。 ※ 小学校教員へのアンケート…活用している38%、活用していない62%。 ・低学年を担当しないとカリキュラムがあること自体を知らない教員もいる。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子を見学して、就学することへの意識付けとなった。 ・6月に交流を行い、学校に慣れてきた子どもたちの様子を見ることができた。そのため、見通しをもって保育活動をすることができた。 ・複数のクラスを回るのではなく、1クラスでずっと見学するのも良いのではないかと。しかし、遊びの10分は短い、授業見学の10分は園児には長いかもしれない。 ・小学校を体験することにより就学にあたっての不安感が軽減した。 ・5年生（次期6年生）との交流があったのはありがたい。続けてほしい。 ・早い段階で保育者・教職員同士の交流を行った。幼稚園・保育園側からはゴールの姿が見え、中長期的視点で指導ができた。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目⑤給食について、小学校からの助言を受け保育園で給食指導に取り入れるようにした。 ・児童の様子を見学して、⑤給食の食べ方・③話を聞く態度・①挨拶に重点を置いて、保育園で指導をした。 ・学習体験をすることで、①③手を上げて発表するなどの経験を積むことができた。 <p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 有 無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

<p>(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の際、レクや遊びなどの企画が多くなりがちである。授業体験なども取り入れていく。 ・図書室体験や校庭での体験など園ではできないことを取り入れていく。 ・行事などの交流だけでなく、学校公開週間なども活用していく。 ・公園遊びなど、幼稚園・保育園同士の交流が増えると良い。 ・連携園が多く連絡・調整が大変である。見直しはできないか。
<p>(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回目のブロック会議において「接続期カリキュラム」を活用した連携活動を意識することを提案した。幼稚園、保育園の職員には浸透しているが、小学校教員には低学年担任経験者以外には十分な周知がなされていない。そのため教員の中から「1年担任の先生だけではなく、全教員でスタートカリキュラムについて知る機会があるべきだ。」という意見も出ている。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第5ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【足立小学校】

担当園【中央本町保育園】

小学校名		足立小学校	弥生小学校	弘道小学校	弘道第一小学校	
連携園		①高和保育園 ②五反野保育園 ③子ひばり保育園 ④春光幼稚園 ⑤その他	①足立梅島雲母保育園 ②城北幼稚園 ③中央本町保育園 ④やよい保育園	①キッズガーデン 足立綾瀬 ②弘道幼稚園 ③五反野幼稚園 ④トレジャーキッズ あやせ保育園 ⑤西綾瀬りりおっこ保育園	①聖華こうどう保育園 ②のぞみ幼稚園	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③ ④	② ③ ④	① ② ③ ④ ⑤	① ②	
	第2回ブロック会議	① ② ③	① ③ ④	② ③ ④ ⑤	① ②	
職員交流	学校から園へ	交流研修	7月① 12月②	7月③	1月③ ⑤	12月①
		公開保育	7月② ④ ⑤ 8月①	7月③ 8月②	9月③ ⑤	7月① 8月① ②
	園から学校へ	交流研修	9月①	5月③ ④ 6月②	5月① ⑤ 6月③	6月①
		学校公開	前期	① ② ④ ⑤	③	① ②
	後期		② ④ ⑤	③	② ③ ⑤	
その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>		・一年生見学⑤	・保護者会講話③ ・一年生見学③	・弘道フェスティバル③ ・小学校の公開授業③		
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	10月①(1年生) ②(1年生) ③(1,5年生) ④(1年生)	9月②(1年生) 11月①(1年生) ③(1年生) ④(1年生)	12月③(1年生) 1月②(1年生) ④(1年生) ⑤(1年生)	1月①(5年生)
		体験授業	1月① ② ③ ④	11月③ ④	12月③	6月② 10月② 12月② 2月②
		読書活動	1月① ④			
		その他の活動	・音楽会① ② ④ ・学校探検② ・水害訓練②	・音楽会③ ④	・体験入学③	

幼保小連携活動報告 第5ブロック

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き児童・園児交流を推進するとともに、職員交流を活性化することで、子どもの発達段階、発達課題の共通理解を図ること。 園同士の連携を強化し、小学校入学後、生活経験の違いに対応できるようにすること。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> 食器や鉛筆の持ち方などを正しく行えるようにすること。 個人の持ち物を自分で管理できるようにすること。 時間内に食べ終えるなど、時間を意識した行動ができるようにすること。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」との関連を確かめ、「三つの柱」に基づく内容を理解すること。 学校・園と家庭との連携をさらに強化して子どもを育むために、家庭への啓発を図ること。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> イベントだけでなく、通常の教育活動の中での児童と園児との関わりを定期的に行ったことで、就学に向けてめざすべき姿を保育者が具体的にイメージすることができた。 鉛筆の持ち方については、書く活動の場面を中心に、絵図で示したり、個別に指導を行ったりして定着を図った。 食べるのに時間がかかる児童を先に配膳して食べさせることで、喫食時間を長めに確保し、時間内に食べ切れるようにした。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> 小学校入学を「ゴール」とした5歳児の段階で取り組むべき内容が明確になり、指導がしやすくなった。 幼児教育において、どのような姿をめざし、どのような取り組みを進めてきたのか、具体的な姿を教員が把握することができ、小学校入門期の指導を具体的に考えることができた。 園の保護者会で接続期カリキュラムの14項目を説明し、就学に向けて家庭で何をすべきか方向性を示した。
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 有 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して交流できるようにし、園が通常の学校生活を知る機会を充実させること。 幼保小連携に対する教員の意識を広げるため、また、特定の学年に係る負担を軽減するため、複数の学年と園児との交流を行うようにすること。 イベントばかりでなく、通常の生活における1年生との関わりを定期的に行えるようにすること。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 学校と園との共通理解を進め、より多くの共通行動を取れるようにするための拠り所として本カリキュラムを活用すること。 内面理解をめざす幼児の評価から小学校の学習評価への移行について、保育者と教員との共通理解を進めること。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第6ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【東綾瀬小学校】
担当園【東綾瀬保育園】

小学校名		綾瀬小学校	東綾瀬小学校	東加平小学校	
連携園		①足立白うめ幼稚園 ②あやせ保育園 ③コンビプラザ綾瀬保育園 ④チェリッシュ綾瀬保育園 ⑤東部若葉保育園 ⑥その他	①足立若葉保育園 ②あやせババール園 ③恵・YOU保育園 ④東綾瀬保育園 ⑤東綾瀬さらさら保育園 ⑥その他	①北綾瀬聖華保育園 ②チェリー幼稚園 ③にじいろ保育園綾瀬 ④その他	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③ ④ ⑤	① ② ③ ④ ⑤	① ③	
	第2回ブロック会議	② ④ ⑤	② ④	① ② ③	
職員交流	学校から園へ	交流研修	12月⑤ 1月②	2月④	8月① 1月①
		公開保育		8月②	8月④
	園から学校へ	交流研修	6月② 7月⑤	6月② ④ ⑤	5月① 6月④
		学校公開	前期	② ⑥	③ ④ ⑤ ⑥
	後期		②	③ ⑥	
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事... 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>			・絵本読み聞かせ② ・入学説明会②	・養護教諭及び看護師意見 交換会① ・講演会参加(いじめ)① ・わくわくウェーブ①
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	10月①(5年生) 11月④(1年生) ⑤(1年生) ⑥(1年生)	10月②(5年生)④(5年生) 12月①(6年生)③(6年生) ⑤(6年生)	2月③(1年生)
		体験授業		7月③ 12月⑤	2月③
		読書活動		6月⑤ 7月④	
		その他の活動	・音楽会② ・ゲーム交流⑥	・学芸会③ ④ ⑤ ・学校探検③	・音楽会① ・小学校見学② ・校庭借用④ ・避難訓練④

令和元年度 幼保小連携活動内容

第6ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【東綾瀬小学校】

担当園【東綾瀬保育園】

小学校名		東洲江小学校	北三谷小学校	大谷田小学校	長門小学校	
連携園		①東保育園 ②聖母のさゆり保育園 ③チェリー保育園 ④どんぐり保育園 東和 ⑤その他	①親愛幼稚園 ②東和保育園 ③ビーフェア東和親水保育園 ④美松学園幼稚園 ⑤その他	①隅田学園 ②聖フランシスコ幼稚園 ③その他	①隅田学園	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③ ④	① ③ ④	① ②	①	
	第2回ブロック会議	① ②	④	① ②	①	
職員交流	学校から園へ	交流研修	7月① ③ 8月④ 12月① ② ③	1月④	12月① 1月①	8月①
		公開保育	12月③	8月⑤	8月③	
	園から学校へ	交流研修	6月① ④ 10月③		6月①	6月①
		学校公開	前期 後期		① ③ ①	
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>				・研究授業③	
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	10月③(1年生) 11月①(1年生) 12月②(1年生)			12月①(1年生)
		体験授業	11月① 12月②	10月④ 11月③		
		読書活動			2月①	
		その他の活動	・音楽会 ② ③ ④ ⑤ ・運動会⑤	・学校探検① ・運動会②	・園外保育③ ・体育館借用③	・運動会①

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉による伝え合い」の強化、実践を行う。 ・小学校での生活の様子を年長児の保育に活かしたり、保育園での様子を1年生初めの生活に活かしたりできるように、教員同士の理解を深める。 ・年長児により小学校が魅力的に映るような交流をする。 ・幼保小連携ブロック会議、また、3月の要録提出の際に入学予定の園児について聞き取りを行うことができたが、時間が限られていた。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方が身に付いていない児童が一定数いるので、保育園から正しく持てるように指導する。 ・園児の新しい環境に対しての抵抗感を和らげ、できるだけスムーズに小学校生活に移行できるよう、入学前年度中の幼保小交流活動にこのアンケートを活かす。 ・見取りをする時間や改善の時間がとれるよう、早い段階でアンケートを行う。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用ができるように、各園、各校で読み込み、理解を図る。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <p>【子どもの交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年長児を小学校に招き、1年生がグループごとに小学校生活について伝えた。(掃除の仕方、ランドセル体験、字のなぞり、計算ブロック、日直のやり方など) ・小学校校内見学。 ・小学生から幼稚園・保育園児への読み聞かせ、言葉集めトレーニング。 ・「言葉による伝え合い」のための実践。 <ul style="list-style-type: none"> ①MIMを通し、語彙力を高めた。 ②主人公の気持ちの読み取りなど、叙述に基づいて考えられるように指導した。「わたしは○○だと思います。理由は○○だからです。」など、理由も含めて考えられるようになったり発言できたりするようになった。 ③困ったことを、「○○だから、△△してください。」と理由を含めて話せるように指導した。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方は保育園でも鉛筆の持ち方矯正具を使用したり、園児に常に意識させるように声掛けをしたりすることができた。 ・体験給食。 ・学校行事の参観(音楽会・学芸会)。 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の、小学校生活に対する期待が高まったり、見通しがもてたりした。1年生は園児に喜んでもらおうと、相手を意識して活動することができた。 <p>【職員の交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員による幼稚園・保育園での1日交流研修。 ・保育者による小学校での1日交流研修。 ・小学校教員による夏季休業中の保育参観。 <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学前の園児の1日の生活の様子が分かり、児童への指導に活かされた。 ・園児が自分のやりたい活動を選ぶことができるよう、場の工夫がなされていたり、園児同士のコミュニケーションが円滑に行えるような声掛けや、保育者の工夫、支援を知ることができた。

(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・主に「言葉による伝え合い」の強化を行い、上記に記した成果を得ることができた。 ・事前にどの場面、学習活動で取り組むのか確かめ、計画的に行った。 ・実施した内容については表を用いてチェックした。 	
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用	(有) 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園児との交流の内容は、今年度と同じように小学校の生活へ期待できるようなものにする。 ・音楽会などの保育園児の見学の有無の調査を事前に行う。 ・小学校教員の交流研修の時期を冬休みから夏休みにする。 ・ランドセルの形、入学後の学用品などについて、年長児の時点で知りたい保護者が多い。そのため、5月の幼保小連携時に入学のしおりを保育園に参考程度に渡し、情報共有をする。 	
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・接続期カリキュラムを熟読し、各園、各校の実態に合った指導を行う。 ・来年度も引き続き、「言葉による伝え合い」の強化を行う。 	

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第7ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【辰沼小学校】

担当園【辰沼保育園】

小学校名		中川小学校	中川北小学校	辰沼小学校	中川東小学校	六木小学校	
連携園		①大谷田第一保育園 ②チェリッシュ北綾瀬 ③その他	①六木保育園 ②その他	①きたあやせこころ保育園 ②辰沼保育園	①おおやたこども園 ②ナーサリースクール いずみ大谷田 ③その他	①神明町保育園 ②六木幼稚園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ②	①	① ②	① ②	① ②	
	第2回ブロック会議	① ②	①	① ②	① ②	①	
職員交流	学校から園へ	交流研修	12月①	8月①	12月②	7月② 8月①	8月③ 12月①
		公開保育	7月①	7月①	7月② 8月②	7月① ②	8月②
	園から学校へ	交流研修	6月① ②	5月①	6月②	5月①	
		学校公開	前期	① ② ③	① ②	②	① ③
	後期		①	①	②	①	
その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など	・初任者研修①	・開かれた学校づくり協議会① ・初任者研修① ・10年目研修① ・中北まつり① ・保護者会講話① ・道徳地区公開講座②	・初任者研修② ・道徳地区公開講座② ・保護者会講話②	・区小研① ③ ・きらり祭① ・保護者会講話① ・児童について引き継ぎ① ・初任者研修③	・初任者研修③ ・10年目研修③		
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食(交流学年)	10月①(5年生)	12月①(5年生) ②(5年生)	11月①(1年生) ②(1年生)	12月②(3年生) 2月①(3年生)	2月①(1年生)
		体験授業	6月② 10月①	8月①	11月①	12月② 1月①	
		読書活動		12月①			
		その他の活動	・展覧会① ・学校探検① ②	・展覧会① ・学校探検① ② ・体育館体験① ・校庭体験① ・交流遊び①	・学校探検② ・園訪問交流②	・展覧会① ・学校探検① ・プール見学① ・サツマイモ植え①	

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業参観や保育参観の参加率を見ると、温度差があり交流の深さに影響している。 ・私立園との交流について働きかけてきたが、新しい私立園との交流が十分できなかった。要望は確認しているので、引き続き働きかけていく必要がある。 ・子どもの交流も既存の取り組みにとられることなく、様々な交流の可能性を探っていく。 ・保護者の理解を得られにくい家庭への対応に課題がある。「入学までに身に付けたいこと」を保護者と共有することが重要。より一層連携を深めていくことに力を入れる。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②③の着座をして、しっかり話を聞くということが、他の項目と比較して低い。 ・⑥の学習用具の準備や整理のところがやや低い。 ・⑦の鉛筆の持ち方は、他ブロックを含め継続した課題となっている。 <p>(1年生の姿から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方も学習の準備も個人差がある。 ・基本的な生活習慣(身のまわりのこと)はほとんどできている。 ・姿勢が悪い子もいるが、立ち歩くようなことは、ほぼなくなった。 ・困ったときなどに人に助けを求めることができることが必要。 ・就学前に生活や遊びの中で体験的にしてきたこと(学び)を、教材に落とし込んでいくことが求められている。
<p>(3) 「あだち幼保小連携接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きで使えるので活用しやすい。 ・1年生の担任以外はあまり見る機会がなかった。 ・連携は定着し、深まっている。これからは、「あだち幼保小接続期カリキュラム」を活用し、共通の視点をもって互いに授業や保育を見るなどし、相互理解と連携の充実につなげたい。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観・協議会を夏季休業中に行い、教員が入学前の園児の様子を知ることができた。 ・幼稚園・保育園の職員が小学校の授業を見て、児童の様子や指導内容を確認した。 ・児童がキャリア教育の一つとして保育体験を行った。 ・保護者に「入学までに身に付けたいこと」について保護者会や面談で説明した。 ・様々な行事に対し、見通しをもって活動できた。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校ごとに連携グループをつくり、各グループで幼保小それぞれから課題を出し、その改善に向けて今年度、「あだち幼保小接続期カリキュラム」のどこを視点に連携を推進するか検討した。 ・グループごとに決めた項目をそれぞれの学校、園の職員で共有し、年間を通じた連携の視点とした。また、施設長会議を開催し、途中経過と課題の共有を図った。 ・公開保育時の参観アンケート用紙に5グループの視点を載せたり、公開園のグループが選んだ項目のページを資料として配布したりした。 ・視点をもった上で授業を観察し、意見交換をすることができた。 ・接続を一人一人が意識するきっかけになった。 ・どこに重点をおくか考えることができた。
<p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2(1)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・入学後の個人差(学力・生活面)が大きく差がなかなかうめられない。保護者に理解してもらいにくい。保護者会の時に図や写真などを使って分かりやすく説明して家庭でも意識していけるようにする。
- ・保育園の年長組の保護者会に小学校の管理職や1年生担任が参加し、「入学までに身に付けたこと」を基本とした「小学校入学に向けて」の話をする。
- ・体験給食だけでなく、学校図書館での読書活動や校庭での遊び体験を増やしていく。

(2) 2(2)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・就学前施設がさらに増える中、幼保小連携・交流が重要となる。接続期を中心とした幼保小連携活動を縦だけでなく、横のつながりにも活かし、教育・保育の質の向上をめざす。
- ・公開保育時に参観のポイントを示し、視点をもって見るために、アンケートの設問を工夫したり「あだち幼保小接続期カリキュラム」の該当項目をコピーして配布したりする。
- ・年2回の施設長会議の中で取り組み状況を報告し合い、各グループの気付きや成果を共有して、ブロック全体としての連携の推進につなげる。
- ・家庭で取り組んでほしいことについて、保護者会やお便りなどで知らせていく。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第8ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【青井小学校】

担当園【平野保育園】

小学校名		栗島小学校	加平小学校	東栗原小学校	平野小学校	青井小学校	
連携園		①栗島幼稚園 ②その他	①あおい幼稚園 ②たんぽぽ 保育所 第二六町園 ③たんぽぽ 保育所六町園 ④野のはな 保育園 ⑤六町駅前 保育園 ⑥その他	①クレア ナーサリー 足立さくら園 ②東栗原保育園 ③その他	①足立つくし 幼稚園 ②平野保育園 ③その他	①あい・あい 保育園綾瀬 六丁目園 ②青井保育園 ③明日葉保育園 青井園	
会議	第1回ブロック会議	① ②	① ② ③ ④ ⑤	① ②	① ②	① ② ③	
	第2回ブロック会議	① ②	① ② ⑤	①	① ②	③	
職員交流	学校から園へ	交流研修	1月②		7月③ 8月②	8月① 12月① ②	8月② 12月② 1月②
		公開保育	7月② 8月①		7月②	7月② 8月①	7月②
	園から学校へ	交流研修		6月⑤	6月③	6月① ②	4月② 5月② 6月③
		学校公開	前期	① ②	③ ⑤ ⑥	① ③	① ②
	後期		①	③ ⑥	③	②	②
その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>		・教諭の講師 派遣①			・保護者会講話 ① ②		
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	11月①(5年生)	11月①(1年生) 2月②(1年生) ③(1年生)	11月①(1年生) ②(1年生)	2月②(1年生)	6月②(3年生) 11月③(3年生)
		体験授業	11月①	11月① 1月⑤ 2月③		2月① ②	
	読書活動		3月⑤		2月②	6月②	
	その他の活動		・水防訓練 ② ③ ・図書館の利用 ③	・展覧会① ② ・交流会③ ・運動会③	・音楽会① ② ・運動会 ① ② ③ ・交流会①	・音楽会② ③ ・学校探検② ・交流遊び②	

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・体験給食の日程調整が難しい。 ・家庭でのスマホ・タブレット使用時間が長く、首を日常的に曲げている児童がいる。 ・正しい箸の持ち方、鉛筆の持ち方、姿勢保持について、まだ十分に浸透していない。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、姿勢よく座ることができない児童が多い。 ・鉛筆を正しく持つことができない児童が多い。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・活用の度合いが、保育園、幼稚園によって異なる。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を踏まえ、ブロック内の各園で、共通教材（座り方、鉛筆の持ち方のポスターなど）を活用したことによって、椅子の座り方が上手になってきており、立ち歩きがなくなってきた。また、鉛筆の持ち方に関して癖がついている子どもは正しい持ち方には直りにくい傾向があるので、就学前から鉛筆を持つ時期や教材、持ち方などを意識することが大切である。 ・姿勢の保持についても、体幹を鍛える運動（手押し車、雑巾がけ、リトミックなど）を活動の中に意図的に組み込むことで、自分の体をしっかり支えることができるようになり、改善が見られた。また、保育園や幼稚園で楽しみながら運動遊びを経験したことが小学校での体育の授業の運動につながっていくこともわかった。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・「あだち幼保小接続期カリキュラム」の内容も十分に精選されていると思うが、5歳児担任と1年生の担任だけが活用するだけでなく全職員が共通認識を持って取り組んでいく必要がある。また、全てを実践するのは現実的に難しいのでブロックとしての重点的な取り組み目標を決めて、全学校、全園で実践できるようにしていく。
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有・無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方、箸の持ち方、姿勢保持については、継続して実施していくが、新しい取り組みについても、次年度第1回目のブロック会議で協議する。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材などについて、あだち幼保小接続期カリキュラムに合わせて活用できるよう検討していく。 ・ブロック共通の重点取り組み目標については、次年度1回目のブロック会議で小1アンケート結果も踏まえ協議する。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第9ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【花保小学校】

担当園【南保木間保育園】

小学校名		花畑小学校	花畑第一小学校	花畑西小学校	桜花小学校	花保小学校	
連携園		①六町あづま保育園 ②その他	①東花畑保育園 ②その他	①杉の子幼稚園 ②レイモンド花畑保育園	①花畑桑袋保育園 ②花畑八千代幼稚園 ③その他	①愛隣保育園 ②石鍋幼稚園 ③東保木間保育園 ④南保木間保育園 ⑤六町保育園 ⑥その他	
会議	第1回ブロック会議	①	①	① ②	① ②	① ② ③ ④ ⑤	
	第2回ブロック会議	①	①	① ②	① ②	① ② ③ ④ ⑤	
職員交流	学校から園へ	交流研修	7月①	8月① 12月①	6月① 7月② 1月②	12月① 1月③	12月④
		公開保育		7月① 8月①		7月①	7月④ 8月④
	園から学校へ	交流研修	6月①	4月①	5月②	5月① ③	6月④
		学校公開	前期	②	① ②	① ②	① ③
	後期			②	②	① ③	① ③ ④
	その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など			・給食試食会① ・学校見学②	・教員との意見交換② ・特別支援の教員が状況把握のため来園②	・保護者会講話① ・校庭の借用② ・教員と意見交換③	・保護者会講話④ ・研究発表④ ・持久走大会④ ・公開保育協議会④
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食(交流学年)	10月①(1年生)	12月①(1,5年生)	1月①(1年生) 2月②(5年生)	11月①(1年生)	1月②(5年生) 2月①(5年生) ③(1年生) ④(5年生) ⑤(6年生) ⑥(5年生)
		体験授業	2月①	12月①	1月①	11月① ③	12月③ ⑥
	読書活動				2月①	7月⑤	
	その他の活動	・学芸会① ・運動会②	・展覧会① ・学校探検① ・体験学習① ・園訪問① ・運動会②	・展覧会① ・運動会②	・学芸会① ③ ・学校探検① ・運動会③	・音楽会① ④ ⑤ ・運動会① ⑤ ・学校探検① ④ ⑤ ・花保っ子ランド④ ⑤ ・みんなであそぼうパーク⑥	

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員が園に出向き、保育者とともに文字や数字の基本的な事項の指導を行う機会を設け、学びの継続性を強化する。 ・保育者が小学校に来校し、1年担任教員とともにTTとして児童の学習指導に参加し、小学生の指導について理解するとともに園での指導に役立てる。 ・それぞれの保育者・教員が、園や小学校の公開保育・授業、行事などに、より積極的に参加し、お互いの理解を深めるとともに指導の共通化を図る。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの項目の回答が「身に付いている」または「身に付いていない」などが極端に感じた。まだ、入学して数日の子どもたちに対して、判断が難しい項目がある。「できる」「できない」の間にも基準があってもよいと思う。 ・項目内容に関しては良い。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムのおかげで、まだ教えられてない指導内容があることや、まだレベルが達していない内容があることに気が付ける。縮小して週案に貼る、学年で読み合いをするなど、話し合いの時間を確保する必要がある。 ・週案に反映する指導時期一覧表も、活用はしたが、週案には記号しか書くスペースがなく、記号だけだと意味が分からなくなってしまうことがあった。より上手く活用していけるようにしたい。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢「グー・ペタ・ピン・キラ」の合言葉を聞くと、姿勢を整える合図になっている児童が多く、浸透している。今後は、長い時間の姿勢保持ができるようにする課題がある。体幹を鍛える取り組みを共通指導できるようにしていきたい。 ・学習用具の準備や片付けは、素早くなってきた。学校での朝の支度は、登校時刻がとても大事である。起床や登校の時間を毎日守れるようにすることが課題である。 ・「鉛筆の持ち方」の意識が年々高まっている。持ち方が正しくない児童には、入学してすぐに矯正器具を購入した。継続が必要である(器具は学校で一括購入)。 ・保育園、小学校の互いの現場を参観したり、体験したりすることで、情報共有ができた。課題点は3 (1) に記載。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生担任で共通指導できるようにした(初任者への研修も含む)。 ・週案簿の指導項目を学年で統一した。 ・学校全体で理解を深めた。
<p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 (有)・無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2(1)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・姿勢保持のための活動⇒合言葉の継続、体幹を鍛える活動を多く取り入れる。
- ・掲示に関しては、必要最低限の情報に留めるようにする。聞く姿勢を良くさせ、より話に集中させる。⇒環境を整える。
- ・話す力の強化⇒話型を提示し、相手に伝わる話し方を身に付けさせる。自分の思いを相手に伝えられることに喜びを感じられるよう、スピーチの経験を重ねる。
- ・やってはいけないことに対して、「ポーズ(一時停止)」ができるようになってほしい。

(2) 2(2)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・今年度同様に活用する。
- ・週案簿に転記した記号の内容がすぐに分かるよう工夫する。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第10ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【**澁江第一小学校**】
担当園【**北保木間保育園**】

小学校名		中島根小学校	澁江小学校	澁江第一小学校		
連携園		①中島根保育園 ②その他	①竹塚幼稚園 ②竹の塚北保育園 ③その他	①小倉幼稚園 ②北保木間保育園 ③保木間保育園		
会議	第1回ブロック会議	①	① ②	① ② ③		
	第2回ブロック会議	①	① ②	① ② ③		
職員交流	学校から園へ	交流研修	2月①	7月② 8月② 1月①	12月② ③	
		公開保育	7月①		7月② ③	
	園から学校へ	交流研修	5月①	5月① ②	6月② ③	
		学校公開	前期	① ②	② ③	① ② ③
			後期	①	②	① ② ③
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>			・1年次研修② ・職員交流研修②	・保護者会講話② ③ ・開かれた学校づくり 協議会③	
	児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	11月①(1年生) 1月②(1年生)	11月①(5年生) 12月②(1年生)	
体験授業				12月②	1月① ② ③	
読書活動			2月②	7月③		
その他の活動		・音楽会① ・運動会① ・さつまいも栽培①	・運動会① ② ・音楽会① ② ③ ・学校探検①	・運動会① ・おもちゃフェスティバル ① ・音楽会② ③		

令和元年度 幼保小連携活動内容

第10ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【**渚江第一小学校**】
担当園【**北保木間保育園**】

小学校名		西保木間小学校	保木間小学校	竹の塚小学校	
連携園		①水神橋保育園 ②西保木間保育園	①竹の塚保育園 ②その他	①ちやいれつく 竹ノ塚駅前保育園 ②ふちえ幼稚園 ③渚江保育園 ④保育園ミルキーウェイ 竹の塚 ⑤その他	
会議	第1回ブロック会議	① ②	①	① ② ③ ④	
	第2回ブロック会議	① ②		① ③ ④	
職員交流	学校から園へ	交流研修	12月① 1月②	12月①	8月① ③
		公開保育	7月②		7月⑤ 8月⑤
	園から学校へ	交流研修	6月① ②		6月③
		学校公開	前期 ① ② 後期 ②	①	
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>			・初任者研修①	
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	1月①(1年生) ②(1年生)	10月①(5年生) ②(5年生)	11月③(1年生)④(1年生) 12月①(1年生)②(5年生)
		体験授業	1月①	2月①, ②	2月①
	読書活動	1月①	10月②	6月～3月① 7月④ 9月④ 10月④ 11月④ 12月④ 1月④	
	その他の活動	・運動会① ・学校探検① ・学芸会② ・学校体験②	・学芸会① ② ・学校探検① ② ・保木間まつり② ・運動会① ・街探検① ・交流会② ・ハートtoハート②	・学芸会① ③ ・運動会① ・学校探検② ・交流会②	

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度の前半は、十分な交流ができないという課題があったので、夏休み過ぎから計画を立てた。運動会は、前半の大きな行事の1つであるが、土日開催なので園児が参観するのは難しい。2年生が生活科の学校探検に招待するなど工夫した。 ・体験給食は、寒くて風邪の流行る時期に設定しがちだが、時期を考慮する必要がある。当日中止になることもあった。小学校としては、教室や教員の確保、準備に要する時間など負担感が大きいのが現状である。アレルギー対応も綿密に打ち合わせが必要である。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姿勢良く座ること、話を聞くことに課題のある児童は、学習面だけでなく生活面も厳しいことが多い。 ・鉛筆を正しく持つことは、園の方でも意識しているが、どうしても癖がついてしまっている子は、家庭でも意識してもらうことが大事である。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、1年担任もしくは、1年担任を経験した教員は、「あだち幼保小接続期カリキュラム」を知っているが、全教員に向けての時間が必要である。今年度初めて1年担任になった教員が、同じ学校にいても知らなかったと言っていた。 ・「あだち幼保小接続期カリキュラム」は、園から学校へのそれぞれのポイントが詳しく掲載されているので、幼保小連携をする前に、それぞれの園や学校が研修して参加するとより深めた交流ができる。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会のリハーサルを見学した。 ・教員の交流研修を行った。 ・生活科の授業に参加するなど体験学習ができた。 ・体験給食を行った（インフルエンザなどの理由で中止になったグループもあった）。 ・学習発表会・音楽会の見学。 ・小学校の教員が保育園に行き模擬（ミニ）授業を行ったり、保護者会で学校のことを話したりした。 ・学校公開の時は、保育園職員が見学に行った。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <p>接続期の子どもの教育・保育目標を分類整理し構造化するとともに、項目ごと具体的な場面を想定して指導方法や留意点をまとめた素晴らしい資料です。第10ブロックでは、各園・校の子どもの実態や課題に即しつつ、「学びに向かう姿勢」に焦点を当て連携活動に取り組みました。各園・校で取り扱っている教育内容を、それぞれの指導目標に照らして価値づけたり評価したりすることができました。</p>
<p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2(1)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・ 保育園と学校で体験給食を行う。日程調整や連絡を密に行う。
- ・ 遊びや授業での交流をする（読み語りを行うグループがある）。
- ・ 園児が学校行事を見学する。
- ・ 小学校の教員が、園に行つてミニ授業をする。
- ・ 就学前に情報交換し、引き継ぎをすることが大切である。

(2) 2(2)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

各園・校の管理職が、小学校スタートカリキュラム、あだち幼保小接続期カリキュラムなどの活用方法について指導にあたる職員に具体的に助言することが重要です。小学校では、新1年生の担任に早い段階で研修を行うなどの工夫が考えられます。また、幼稚園・保育園・小学校が子どもの実態や課題を共有し、めざす子ども像を設定します。あだち幼保小接続期カリキュラムを活用して子どもの様子を評価するとともに、活動内容（カリキュラム）自体を評価・改善していくことを通して、幼稚園・保育園・小学校の連携を深めていきます。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第11ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【伊興小学校】

担当園【伊興保育園】

小学校名		西新井第二小学校	西伊興小学校	栗原北小学校	伊興小学校	東伊興小学校	
連携園		①iー保育園 ②アスク西新井保育園 ③清水保育園 ④西新井保育園 ⑤その他	①ういず西新井保育園 ②佐藤幼稚園 ③その他	①伊興大境保育園 ②たんぼぼ保育所 竹の塚園 ③はなぞの幼稚園 ④その他	①伊興保育園 ②福寿院幼稚園	①伊興すみれ保育園 ②本行寺第二伊興幼稚園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③ ④	①	① ② ③	① ②	①	
	第2回ブロック会議	① ② ③ ④	①	① ② ③	①	① ②	
職員交流	学校から園へ	交流研修	6月③ 8月① ② ④ 12月①	1月①	7月① 1月③	8月② 12月①	8月① 12月①
		公開保育	7月⑤	7月③	7月④	7月① 11月②	7月③
	園から学校へ	交流研修	6月① 8月③ 9月④ 12月③	6月①	6月③	5月①	6月①
		学校公開	前期 後期	③		① ② ① ②	③
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など</small>					・開かれた学校づくり協議会 ①	・こどもまつり ①
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	12月①(2年生) ③(1年生) 2月②(1年生) ④(1年生)	12月①(1年生) 2月②(1年生)	11月①(1年生) ②(2年生) ③(1年生)	11月①(1年生) ②(1年生)	11月①(5年生) ②(1年生)
		体験授業	12月① ③ 2月④	12月① 2月②	11月② ③	11月① ②	11月②
	読書活動				1月① 2月①		
	その他の活動	・学校探検① ② ・運動会② ・展覧会③	・音楽会① ・学芸会①	・交流会①	・展覧会① ・学校探検① ・校庭遊び① ・持久走大会 応援②	・音楽会 ① ② ③ ・こどもまつり ③	

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について深く学ぶ必要がある。 ・他者との関わりという視点に着目し、「共同性」について課題とした。 ・「学びに向かう姿勢」を課題とした。 ・体験給食における安全面や準備などについて。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の観点から、姿勢保持や話を聞くなどの約束の共通理解。 ・身の回りのことに対する処理の確立。 ・給食の喫食時間や偏食傾向に対する指導。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・週案や日誌などで活用した。スタートカリキュラムと絡めて役立てた。 ・自己中心的な子どもや自分の思いを伝えられない子どもに対する働きかけ。 ・社会生活との関わりに重点をおき、コミュニケーション能力を充実させること。 ・基本的な生活習慣「学びに向かう姿勢」。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生体験や体験給食、行事などでの交流を通して、園児の就学意欲を喚起できた。また、小学生には園児を思いやる気持ちや1年生または、5年生としての自覚が育った。 ・喫食時間に関しては、具体的な目標時間を設定し、段階を踏んで指導してきた。食べきれぬ量を盛り付けることで、達成感も味わわせてきた。保護者への啓発も行った（連携保小とも）。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育の参観や協議で課題や成果を共有するためのツールとして活用した。 ・共同性というねらいをもち、子どもに発信をしていった。子ども同士で話し合いをする経験を重ねていく中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりできるよう進めた。 ・互いに基本的な生活習慣の観点を意識したことで、今年度の1年生は4月に入学した際にスムーズに学校生活に慣れることができた。
交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 有 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度もテーマを絞って交流していきたい。 ・子ども一人一人の特性を幼保小、そしてそれ以降へと引き継いでいきたい。 ・学びの姿勢の中でも、人の話をしっかり聞くことが課題である。姿勢の保持ができるようになる（座れる・集中して話を聞く）体づくりも課題としたい。 ・教室での交流をもっと行い、一人一人の交流をもっと密にしたい。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの「聞くこと」に焦点を当てて、成果や振り返りの指針として活用する。 ・自分の持ち物や健康面で「自己管理」という視点に着目し、取り組んでいく。 ・引き続き「基本的な生活習慣」を課題とする。 ・子どもも職員同士も交流をさらに増やしたい。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第12ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【新田小学校】
担当園【加賀保育園】

小学校名		鹿浜第一小学校	北鹿浜小学校	鹿浜西小学校	
連携園		①足立このみ保育園 ②谷在家保育園 ③その他	①鹿浜こども園 ②太陽保育園	①鹿浜愛育幼稚園 ②その他	
会議	第1回ブロック会議	① ②	①	①	
	第2回ブロック会議	① ②	①	①	
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月① 1月②	7月① 8月① ②	
		公開保育	7月① ②		
	園から学校へ	交流研修	6月① ②		
	学校公開	前期	② ③	① ②	① ②
		後期	① ②	① ②	①
	その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式, 卒業(園)式, 運動会, 音楽会など</small>		・保護者会講話①	・保護者会講話① ・開かれた学校づくり 協議会②	
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	12月①(1,5年生) 1月②(6年生)	11月①(1年生) 12月②(2年生)	
		体験授業	1月②	11月① 12月② 2月①	
	読書活動	6月②	11月①		
	その他の活動	・音楽会① ② ・学芸会②	・展覧会① ② ・北鹿まつり① ② ・校庭借用①		

令和元年度 幼保小連携活動内容

第12ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【新田小学校】
担当園【加賀保育園】

小学校名		鹿浜五色桜小学校	皿沼小学校	新田小学校	
連携園		①江北白百合幼稚園 ②第三上沼田保育園 ③その他	①加賀保育園	①ココロット保育園 ②新田保育園 ③新田おひさま保育園 ④新田さくら保育園 ⑤新田三丁目 なかよし保育園 ⑥新田わかば保育園 ⑦保育園 ヴィラ・ココロット	
会議	第1回ブロック会議	②	①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	
	第2回ブロック会議	① ②	①	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	
職員交流	学校から園へ	交流研修	2月②	2月①	6月⑤ 7月③ 8月② ⑦ 12月⑤ ⑥ 1月① ② ③ ④ ⑦
		公開保育	7月②	7月①	7月④ 8月① ⑥
	園から学校へ	交流研修	6月②	5月①	5月④ ⑥ 6月① ② ③ ⑤ ⑦ 7月⑤
		学校公開	前期	② ③	①
	後期		② ③	①	③ ④ ⑥ ⑦
	その他の活動 (周年行事を除く) ※周年行事… 入学(園)式、卒業(園)式、 運動会、音楽会など		・保護者会講話②	・保小中連携会議① ・開かれた学校づくり協議会① ・保護者会講話① ・情報交換① ・ミニ授業①	・座談会 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・保護者会講話 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ・接続期研修にパネリスト として登壇②
	児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	10月～11月①(1,2年生) 2月②(1年生)	11月①(1年生)
体験授業				12月① 2月①	6月⑤ 10月① ② ③ ④ ⑤ ⑦ 11月⑥
読書活動		7月②		6月⑤ 7月③ 8月① ③ ④ ⑥ ⑦ 10月② ④ ⑤ 11月⑦	
その他の活動		・学校探検① ② ・音楽会② ・運動会② ・プール授業見学②	・展覧会①・学校探検① ・交流会①・校庭借用① ・ちびっこまつり① ・さらぬまっこまつり① ・図書館利用① ・地域合同清掃①	・学校探検① ④ ・展覧会③ ⑥ ・音楽会⑤ ・運動会⑤	

1 課題

<p>(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の園と学校が連携しているグループでは、園児と児童との人数差の調整・交流活動日の設定などで難しさがあることは、継続的な課題である。 ・個別対応や配慮を要する園児や児童がいる場合のグループ編成について、情報共有をどこまでするのかについて考える必要があった。 ・行事などの参観を通しての交流は充実してきたが、日頃の保育や指導の「実際」についての情報交換や話し合いの時間がとれるとよい。
<p>(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞く姿勢や態度の定着率が74%と、他のブロックと比較して10%以上低い。また、時間内に食べることや鉛筆を正しく持つことの定着率はともに73%であり、決して高いとは言えない。 ・小学校生活のリズムや新しい環境に慣れれば、定着率の向上が見込めるものはよいが、基本的な学習態度の面については、小学校で身に付けられるよう意識して指導する必要がある。
<p>(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前施設から小学校への円滑な接続のためのカリキュラムとして、体系的に明文化されたことにより、めざす園児や児童の姿が見える「共通の指針」として引き継げることが大きな成果である。その一方で内容が多いため、読み込んで理解し効果的な活用につなげるには、時間と担任の能力や経験年数、各学校・園としての意識の高さにかかっているのが現状である。 ・項目を絞った上で取り組むと視点が定まり、保育や指導の振り返り・カリキュラムの活用のしやすさにつながると考えられる。

2 今年度の具体的な取り組み

<p>(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と園が年度当初に連絡を取り合い、早めの調整を重ねたことで連携活動を実施できた。要配慮の園児や児童についての情報も可能な範囲で共有し、職員が付くなどの対応を行った。 ・聞く姿勢の保持や聞く時の集中を高めるために、体幹を鍛える運動や声のトーンや大きさを落とすこと・ハンドサインの活用などに取り組んだことで、少しずつ改善が見られてきた。 ・食に関しての子どもの実態は保護者会などの場で伝え、家庭での協力も依頼した。学校や園では、食材や食べることに関心が向くよう食育や体験活動を取り入れるなどしてきた。
<p>(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロックで統一したテーマを掲げることができなかったが、各連携グループでは「言葉による伝え合い」「自ら体を整える」「協同性」など、項目を絞って取り組むことができた。 ・項目を絞ったことにより、交流研修・学校公開・保育参観や各行事などの場で、子どもを見る際のポイントが明確になり、その後の意見交換などでもブレの少ない話し合いができた。
<p>交流研修・学校公開・公開保育における接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無</p>

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2(1)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・特に、トラブルで嫌な思いをした際に、自分の気持ちを言葉で伝え合うことができるように、担任が十分に話を聞き、言葉をつなぎ(補い)ながら、良い方向に導いていくことが必要である。同時に、自分で振り返って考えることを促すことにも意識して取り組んでいく。
- ・交流研修などの機会を大切な学びの場と一層捉え、各園での活動が小学校ではどの学習活動にあたるのか・各園と小学校での指導法の違いなど、連続性に対する相互理解を深めていく。
- ・小学校主導でなく、各園からのニーズを十分聞いた上での交流活動の計画・実施も行っていく。

(2) 2(2)を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針

- ・連携している学校・園ともに多く、ブロックとして1つの項目に特化して取り組むことには大きな困難がある。そのため今年度同様、連携グループごとで子どもの実態に応じて「重点とする項目」を決め、共通理解の上で保育活動・教育活動に取り組んでいく。
- ・ブロック会議の際には「あだち幼保小接続期カリキュラム」を持参し、重点とした項目についての振り返り・新たな課題についての検討などを行い、より充実した連携活動に生かしていく。

令和元年度 幼保小連携活動内容

1 第13ブロック

※ 交流している小学校と就学前施設の数や交流活動の内容については、地域によって異なります。

担当校【舎人第一小学校】

担当園【いりや第一保育園】

小学校名		舎人小学校	舎人第一小学校	足立入谷小学校	古千谷小学校	
連携園		①アスクとねり 保育園 ②足立みどり幼稚園 ③聖保育園 ④その他	①いりや第二保育園 ②とねり伊藤幼稚園 ③その他	①いりや第一保育園 ②その他	①足立つばめ幼稚園 ②舎人幼稚園 ③その他	
会議	第1回ブロック会議	① ② ③	① ②	①	① ②	
	第2回ブロック会議	① ③	① ②	①	① ②	
職員交流	学校から園へ	交流研修	8月③ ④	12月①	12月①	8月③ 2月①
		公開保育	7月① 8月④ 12月③	7月① 8月③	8月①	7月③ 8月③
	園から学校へ	交流研修	6月① ③	6月①	6月①	6月②
		学校公開	前期	①	① ③	①
	後期		③	① ③	①	
その他の活動 (周年行事を除く) <small>※周年行事… 入学(園)式, 卒業(園)式, 運動会, 音楽会など</small>			・保護者会講話①			
児童・園児の交流	小学校での体験活動	体験給食 (交流学年)	10月①(1年生) ③(1年生)	10月②(1年生) 11月①(1年生)	9月①(1年生)	11月①(1~4年生) ②(1,3年生)
		体験授業		11月①	12月①	
		読書活動			9月①	
		その他の活動	・学校探検② ・交流会② ・運動会③	・音楽会① ③ ・学校探検① ・ドッチボール対戦①	・学芸会① ② ・交流会①	

幼保小連携活動報告 第13ブロック

1 課題

(1) 前年度の取り組みを踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動では、幼稚園児にあらかじめ曲を伝えていた。それをしなくても楽しく活動を進めることはできたが、さらに、楽しく盛り上がるためには、事前に伝えあうことも必要。 ・体験給食の時期に、インフルエンザが流行し、提供ができなかった。時期をずらして、候補日を多く設けられるような工夫が必要。 ・歯科衛生と読書活動の推進。
(2) 「小学校第1学年に関するアンケート」の結果を踏まえた課題
<p>1 食事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食を時間内に食べ終わらない、箸の持ち方ができていないという実態が見られた。これについては、家庭にも実態を伝え、入学前に協力を求めていく必要がある。 <p>2 持ち物の整理整頓について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のものが整理できない、そろえられない子どもが少なくない。幼稚園や保育園では場所を決めたり、自分のマークを決めたりして片付けを行っている。学校に入ると名前や番号で示される。年長児からその習慣を付けておくことで、そのギャップを防ぐことができる。今後も、園と学校とで連携を図っていく必要がある。また、個別に課題がある子どもについては、事前の情報交換で把握し、個別対応の必要性も考えていく。
(3) 「あだち幼保小接続期カリキュラム」の活用に向けた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での取り組みと、就学前施設で取り組みを協議できる場の設定。 ・相互理解を深める連携関係づくり。

2 今年度の具体的な取り組み

(1) 1 (1) (2) に関する具体的な取り組み内容と成果
<p>1 連携小学校との交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師、職員の交流研修において、就学前の子どもたちの様子を直に感じとることができた。 ・就学後の成長の様子を知ることで、就学前に必要なことを再確認することもできた。 <p>2 就学前施設の公開保育への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック内の保育園だけでなく、幼稚園での活動も知ることができた。 <p>3 歯科衛生と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、就学前施設とも、工夫をして活動に取り組んでいる。特に、歯科衛生の面では、ブロック内の保育園、幼稚園があだちっ子・いい歯推進として表彰を受け、成果をあげている。
(2) 1 (3) に関する具体的な取り組み内容と成果
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主催の研修に積極的に参加し情報の共有を図る。 ・カリキュラムを活用して、公開保育の振り返りを行う。保育内容の目的やねらいが示しやすく、参加者の視点も絞りやすくなった。
交流研修・学校公開・公開保育におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

3 来年度の課題と取り組み方針

(1) 2 (1) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな言葉の獲得をめざした読書活動。 ・歯科衛生の推進。
(2) 2 (2) を踏まえた来年度の課題と現時点での取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・あだち幼保小接続期カリキュラムの効果的な活用法。 ・ブロックでの取り組みの中にどのように活用していくか。

令和元年度 幼保小連携ブロック別一覧

ブロック	小学校	幼稚園・こども園	保育園（認証含）
1	千寿 千寿本町 千寿双葉 千寿常東 千寿桜 千寿第八	元宿 足立 聖和 中条 千住寿	千住あずま 緑町 日ノ出町 千住 せきや ステラ千住 Jキッズルミネ北千住 クレアナーサリー千住大橋 たんぼぼ保育所北千住園 ういず千住大橋駅前 ういず千住曙町 あい保育園千住大橋 ぼけっとランド千住曙町 北千住もみじの森 北千住どろんこ まなびの森保育園千住大橋 北千住こども園 キッズガーデン足立柳原 北千住太陽 ステラ千住ふたば まなびの森保育園関屋
2	江北 高野 扇 宮城	足立サレジオ 東京白百合 江北さくら	上沼田 宮城 さつき 江北 三星 にじいろ保育園江北 あい・あい保育園高野園
3	興本 西新井第一 西新井 本木 寺地	足立愛育 足立双葉 興南 西新井 黒田 第一若草	本木 本木東 興本 興野 西新井教会 西新井聖華 いづみ 扇ころろ チェリッシュ西新井 キッズガーデン足立扇 アスク扇 愛恵保育園にしあらい 高野駅前こども園
4	亀田 栗原 関原 梅島 島根 梅島第一 梅島第二	梅島 こだま 満願寺 橋 専念寺 八千代	梅田 中部ひまわり 足立ひまわり 島根 栗原つくし うめだ「子供の家」 親隣館 島根いちい 西新井きらきら 西新井きらきら第二 エーワン梅島 ちぐさ バンビ保育園梅島園 日生梅島保育園ひびき 日生梅島第二保育園ひびき にじいろ保育園梅島
5	弥生 足立 弘道 弘道第一	弘道 五反野 春光 城北 のぞみ	中央本町 五反野 やよい 高和 西綾瀬りりおっこ 子ひばり 聖華こうどう 足立梅島雲母 トレジャーキッズあやせ キッズガーデン足立綾瀬 ばる★キッズ足立
6	長門 綾瀬 東加平 東湊江 北三谷 大谷田 東綾瀬	足立白うめ 親愛 チェリー 美松学園 聖フランシスコ	あやせ 東綾瀬 北綾瀬聖華 足立若葉 隅田学園 東 チェリー 東部若葉 聖母のさゆり 東和 東綾瀬きらきら コンビプラザ綾瀬 どんぐり保育園東和 チェリッシュ綾瀬 恵・YOU ぼけっとランド綾瀬 ビーフエア東和親水 にじいろ保育園綾瀬 あやせババール園
7	中川東 辰沼 中川 中川北 六木	おおやた 東京いづみ 黒川 六木	大谷田第一 辰沼 六木 神明町 ナーサリースクールいづみ大谷田 チェリッシュ北綾瀬 きたあやせころろ 未来っ子保育園北加平町園 足立北綾瀬雲母
8	青井 栗島 平野 加平 東栗原	あおい 足立つくし 栗島	東栗原 平野 青井 たんぼぼ保育所六町園 クリアナーサリー足立さくら園 六町駅前 野のはな たんぼぼ保育所第二六町園 明日葉保育園青井園 あい・あい保育園綾瀬六丁目園
9	花畑第一 花畑西 花畑 桜花 花保	杉の子 石鍋 花畑八千代	花畑桑袋 東花畑 南保木間 六町あづま 愛隣 東保木間 レイモンド花畑 六町
10	竹の塚 中島根 湊江 湊江第一 西保木間 保木間	小倉 竹塚 ふちえ	北保木間 竹の塚北 中島根 西保木間 水神橋 竹の塚 保木間 湊江 ちゃいれつく竹ノ塚駅前 保育園ミルキーウェイ竹の塚
11	東伊興 伊興 西伊興 栗原北 西新井第二	佐藤 福寿院 はなぞの 本行寺第二伊興	伊興 西新井 清水 伊興すみれ 伊興大境 iー たんぼぼ保育所竹の塚園 ういず西新井 アスク西新井
12	鹿浜五色桜 鹿浜第一 北鹿浜 皿沼 鹿浜西 新田	鹿浜 江北白百合 鹿浜愛育	加賀 第三上沼田 新田わかば 谷在家 新田 足立このみ 太陽 ココロット 新田おひさま 新田さくら 新田三丁目なかよし 保育園ヴィラ・ココロット さくらんぼ保育園新田
13	舎人第一 舎人 古千谷 足立入谷	足立つばめ 足立みどり 舎人 とねり伊藤	いりや第一 いりや第二 聖 アスクとねり



幼保小連携ブロック活動 報告

令和2年4月発行

発行 足立区教育委員会

編集 足立区教育委員会 教育指導部 就学前教育推進課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話03-3880-5431